

16 上祿次の辛夷 (林南)

モクレン科のキタコブシで、樹高17m、幹周3mを計り、推定樹齢は300年です。この木は、その年に咲く花の数によって稲の豊作を占う樹木として古来より尊重され、村人によって大切にされてきました。樹下には馬頭観音の碑が9基祀られています。

福島県緑の文化財登録第343号

(町指定天然記念物)



みやござわ いちよう

18 都沢の公孫樹 (関都・堂脇)

六体地藏尊を本尊とする地藏堂の境内にある町内随一の大きさを誇る大イチョウで、樹高25m、幹周6.4m、推定樹齢700年といわれます。

福島県緑の文化財登録第350号

(町指定天然記念物)



みね おおいし

20 見祿の大石 (見祿)

明治二十一年(1888)に磐梯山が爆発したとき、泥流とともに流されてきた巨石で、火山爆発の凄さを物語るものです。年々沈下しているといわれ、現在露出している部分は、高さ3.1m、幅8.2mと当時の半分ほどになってしまったといわれます。石質は輝石安山岩です。

(国指定天然記念物)

17 一位 (蚕養・山根)

天徳寺の境内にあるこの木は、樹高5.5m、推定樹齢700年の古木です。天徳寺は元白木城の北にありましたが、明治二十一年の磐梯山噴火後現在地に移りました。この木は当初残されましたが、数年後この木の精が住職の夢枕に立ち、「寺とともにありたい」とのことで、現在地に移植されたといわれます。

福島県緑の文化財登録第348号

(町指定天然記念物)



どうめき いちよう

19 百目貫の公孫樹 (磐里・百目貫)

猪苗代三十三観音二十番札所である地藏堂の前にあります。以前ここには東光寺という大きなお寺があって、その境内にあったと伝えられています。樹高21m、幹周5.2mを計り、推定樹齢1000年といわれますが、樹勢は極めて旺盛です。

福島県緑の文化財登録第349号

(町指定天然記念物)

